

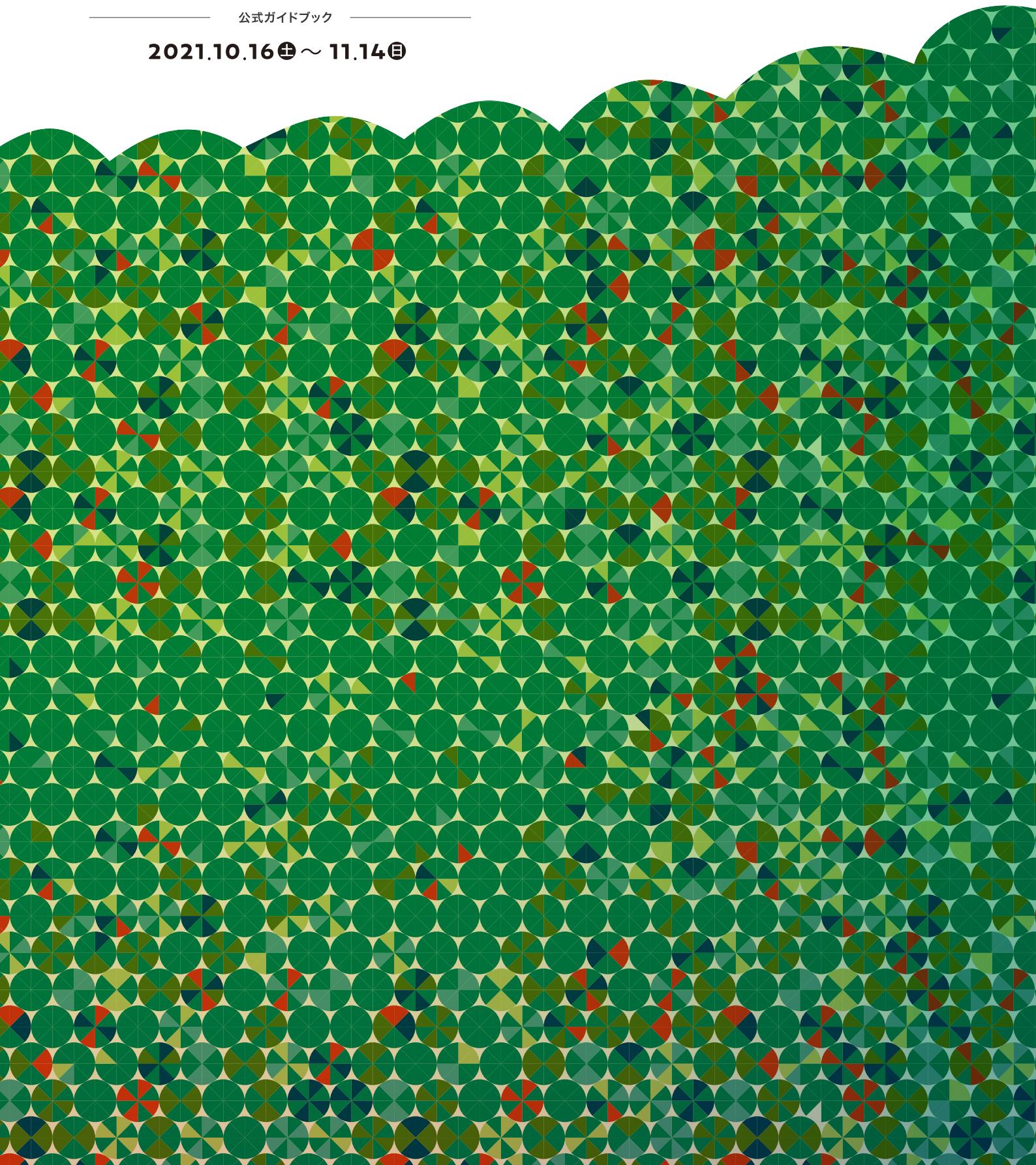


KAKEGAWA CHAENNALE

かけがわ茶エンナーレ 2020+1

公式ガイドブック

2021.10.16(土)～11.14(日)



超日常 茶飯事

茶・茶産地×アートの視点から掛川の魅力を再発見する

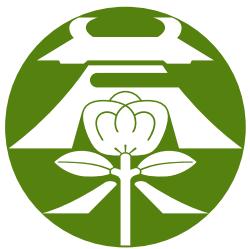
「かけがわ茶エンナーレ2020+I」は、アーティストと市民と地域がひとつになって、ちょっと足りない、あたりまえの今に、新しい視点や技術を+I(プラスワン)に込め、新たな息吹きを吹き込みます。
「いつも」をちょっと「超」えた掛川のまちにきっと出会えるはずです。

PROGRAM

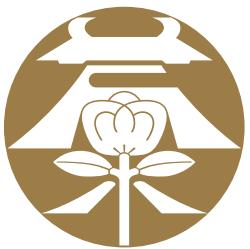
「かけがわ茶エンナーレ2020+I」は、4種のプログラムで構成されています



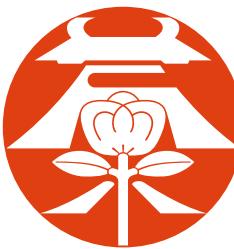
あちこち
超日常茶飯事



みんなの
茶文化



タイアップ
プログラム



実行委員会
プログラム

アーティストと市民が共に創るアートプロジェクト。市内のそれぞれの地域の特色や風景、施設を活用したエリア別の作品展。市の全域をミュージアムに変えます。

「茶文化創造」をテーマにみんなの思いを形にする、市民公募プログラムと、各種団体による企画提案プログラム。掛川市の誇るべき茶文化を市民の力で国内外に発信します。

企業や団体が連携して行うプログラム。茶エンナーレの周知・活性化を図るとともに、市の産業や幅広い文化振興への効果波及を図ります。

オープニングイベント、プレイベント、本部運営など、茶エンナーレ全体に関わるとともに、周知・発信するプログラムです。



かけがわ茶エンナーレ実行委員会 委員長(掛川市長)

久保田 崇

KUBOTA Takashi

「かけがわ茶エンナーレ」は、2017年に「アートが 息づく 茶産地へ」をテーマに初めて開催し、多くの方にご来場いただくと同時に、掛川の文化である『茶』を縁に、地域の魅力発掘や活性化など多くの成果を残しました。

あれから4年経過した今、コロナ禍にあっても市民が文化芸術に親しむことができるよう、デジタルを最大限活用した、これからの時代における新たな芸術として、「かけがわ茶エンナーレ2020+I」を開幕します。

今回のテーマは、「超日常茶飯事」。私たちが普段見慣れた茶畑や歴史的建造物等の景色、またお茶のある暮らし等の掛川の日常が、アーティストや市民の皆さんとの作品と融合することで、その魅力に改めて気づく機会になると思います。

今回はどのような状況下でも作品をご覧いただけるよう、デジタル技術を活用した新しい表現方法でアプローチした芸術祭として開催しますので、ぜひお楽しみください。

最後に、かけがわ茶エンナーレの開催にあたり、大変なご尽力をいただきました実行委員会の皆様をはじめ、市民、団体、企業など関係する皆様に、改めて御礼申し上げます。



かけがわ茶エンナーレ2020+I ディレクター

鈴木 一郎太

SUZUKI Ichirota

暮らしの中で、ふとルーティーン化した物事に慣れ、イレギュラーなことを敬遠している自分に気付く瞬間があります。それは町を見る目や、仕事の時でも似たようなことがあり、無意識に見慣れた景色だと決めつけ、やり慣れた方法で考えてしまっていたりします。「アートはわかりにくい」とよく耳にしますが、それは、ルーティーン化して日常生活をスムーズに送ることに特化した視点から出る言葉ではないかとも思います。あーでもないこーでもないと推察し、自分なりの解釈をしてみる…、私たちの日々は忙しく、プレッシャーに晒されていて、そのような手間がかかるなどを避けてしまいがちです。似ていることにも違いにも反応し、ルーティーンもイレギュラーも等しく価値づけする。アーティストが提示するそんなフラットな視点は、私たちの日常生活にはないものだろうと思います。今回、アーティストや市民の方々の表現した物事をきっかけにして、あなたなりの「超日常茶飯事」を探るチャンネルが心の中に生まれたら幸いです。行動を制限せざるを得ない今、その影響が世界観・価値観をも狭めてしまう危険性に抗いアートという「手間がかかる」ものと向き合う体験を通じて視野や考え方の幅を広げることによって、豊かな日常をつくる柔軟でたくましい人がたくさんいることを願っています。

あかね 超日常 茶飯事

アーティストと市民との共創による、
新たな掛川文化の創造により、
地域の魅力を再発見するとともに、
掛川市全域をミュージアムにしていきます。

掛川市の4つのエリアで、アーティストと市民が、

それぞれ各地域の特色にあわせたアート作品を共に創りあげていくプログラムです。

それぞれの地域の特色にあわせたアートコンテンツを展開し、

掛川市全域をミュージアム化します。

また、どこにいても作品が観覧できるWEB展示を行います。*

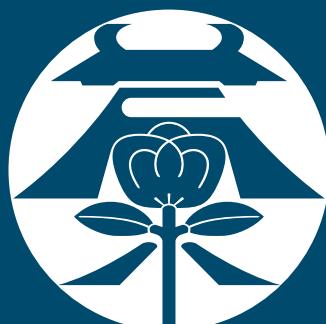
*一部の対象外の作品もございます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更になる場合があります。

QRコードはGoogle マップ™ ヘリンクします。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【注意事項】会場によっては正確な位置情報が表示されない場合があります。会場へのアクセスの目安としてご利用ください。





ぬいぐるみ～ず参考写真

1 まちなかエリア | 竹の丸

藤 浩志 & ぬいぐるみ～ず

FUJI Hiroshi & NUIGURUMI～ZU

「ぬいぐるみ～ずの茶の間」

「ぬいぐるみ～ず」はぬいぐるみでできたキャラクターたちです。子どもたちからあつめられた不要となったぬいぐるみで作られています。掛川の竹の丸に登場する「ぬいぐるみ～ずの茶の間」は、楽しく、優しく、やわらかい2030年の世界という設定です。ぬいぐるみ～ずの理念に共感した掛川の中高生をはじめとする市民や来場者に、その空間で楽しく、優しく、やわらかく過ごしてもらいます。そしてそこで撮影した映像を「未来からのメッセージ」として皆さんに届けることになると思います。



《海をつなげる Two seas connected》2019

2 まちなかエリア | 南郷地域生涯学習センター「弥八庵」

深澤 孝史

FUKASAWA Takafumi

《報徳思想を芸術論として読む》
《横穴墓の茶室》

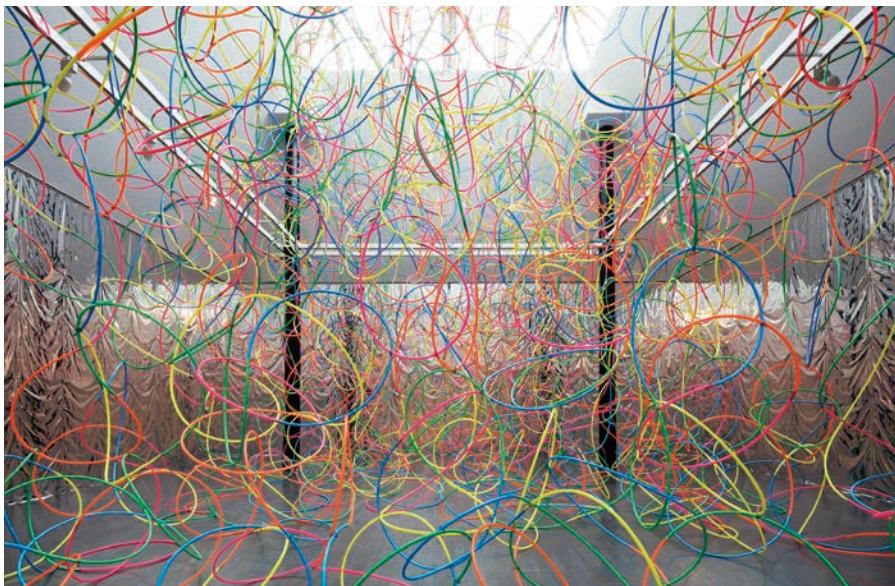
二宮尊徳は、貧しい生い立ちや、度重なる災害、士族の財政改革、農村復興などの経験や、神儒仏の教えから、宇宙、自然、人為の全てを一つの円からはじまるとする独自の思想体系を作った。報徳の「勤勉」は、明治から戦前にかけ近代国家の原動力として読み替えられ便利に使われてきたが、報徳思想をあえて「芸術論」として読み直すことで、便利に使えない部分の報徳思想に着目しようと試みる。実践のひとつとして、南郷地区の開発で失われた横穴墓を河井弥八の残した離れの住居と融合させ「横穴墓の茶室」をつくる。

ACCESS MAP



ACCESS MAP





ACCESS MAP



untitled(hula-hoop)2018
原美術館ARK／撮影:木暮伸也

③ まちなかエリア | 大日本報徳社 仰徳記念館

鬼頭 健吾 KITO Kengo

「untitled(hulu-hoop)」

特殊な偽装がされているわけでもなく、見覚えのある既製品であるはずなのに、元の用途からきっちり切り離され、あたかもそのためにしつらえられたかのよう。この作品はぜひ会場での「体験」をおすすめしたいです。写真などで見られるかもしれません、その場で観る体験とは別物です。無数につながり絡み合うフラーープの様に、会場までの道のりすら作品体験につながっている一部なのかも!?



ACCESS MAP



掛川茶木版画ラベル

④ まちなかエリア | 大日本報徳社 報徳図書館

田中 彰 TANAKA Sho

「KAKEGAWA WOODCUT AQUARIUM」

大日本報徳社第二代社長岡田良一郎の多大な遺徳を記念して建てられた報徳図書館(静岡県指定文化財)が、版画家・田中彰によって水族館に変わる。海と山がつながる掛川の中心地で木版によって、さまざまな魚たちが生み出され、泳ぎ始める。果たして、この魚たちは、海のものか、山のものか。

5

まちなかエリア | We+138

マスダカルシ

MASUDAKARUSHI

「今日は何の日?」

ACCESS MAP



新聞切り絵作家・絵本作家のマスダカルシは、新聞紙、糊、ハサミを駆使して、さまざまな「イキモノ」を生み出す。新聞紙には、いろいろな色や形が潜んでいて、想像を膨らませながら「イキモノ」に生まれ変わらせる。そこには「おとぎの世界」のような空間が広がり、見る者の想像力も膨らませていく。



今日は何の日?

6

まちなかエリア | YAMAZAKI PARADISE

山崎皓司

YAMAZAKI Koji

「鬼ごっこ」

ACCESS MAP



農業／狩猟／養蜂を営む俳優・山崎皓司が、児童文学「泣いた赤鬼」をモチーフに、自ら運営する農園「YAMAZAKI PARADISE」を舞台に、赤鬼を演じる。訪れる人にお茶を振る舞ったり、会話をしたり、交流型演劇を展開し、日々暮らしている掛川から世界平和を目指す。

※「泣いた赤鬼」…村人と仲良くしたい赤鬼と、それを助ける親友青鬼の物語。（開催日はP23「INFORMATION」をご確認ください）



作品イメージ

7

まちなかエリア | まちかど LABORATORY

ZING

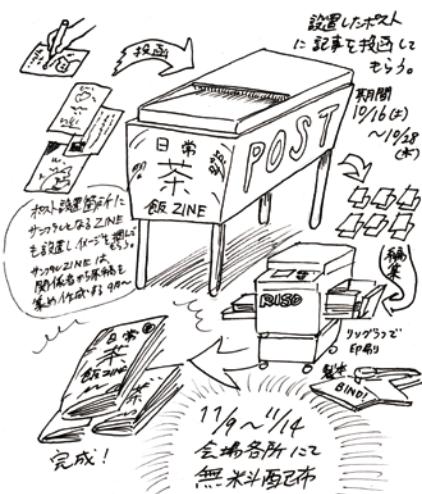
「日常茶飯ZINE PROJECT」

ACCESS MAP



かけがわ茶エンナーレ2020+1に訪れる方々から、テーマにあわせた内容を原稿にしたためてもらい、1冊の「ZINE」にまとめる。会期終盤には、出来上がった「ZINE」を市内各所で無料配布するプロジェクト。

※ZINE（ジン）とは、商業的に大量出版される雑誌や書籍と違い、個人的な趣向で少部数制作・発行される小冊子のこと。



プロジェクトイメージスケッチ

8 北西エリア | 鈴木ストアー(仮店舗)

中崎 透

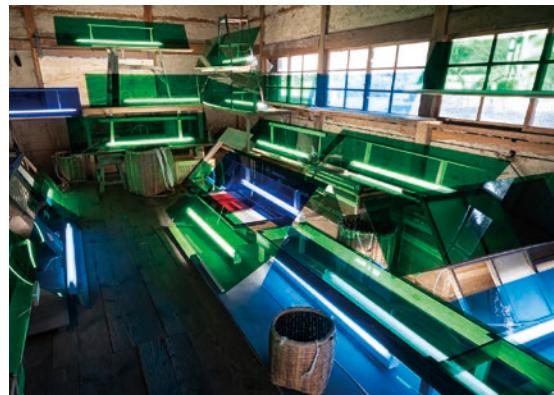
NAKAZAKI Tohru

「Green Border Landscape」

ACCESS MAP



かつて地域の人々の拠りどころとなっていた「鈴木ストアー(仮店舗)」に光のインスタレーションが出現。ライトボックスを使った作品を多く手掛ける中崎透によって、まるで茶畠をイメージさせるかのようにボーダーに連なる緑の光が浮かび上がる。



《Green Tearoom Ballade》photo:加藤健

9 北西エリア | 原谷民家

UO (松田 優/谷 雄一郎)

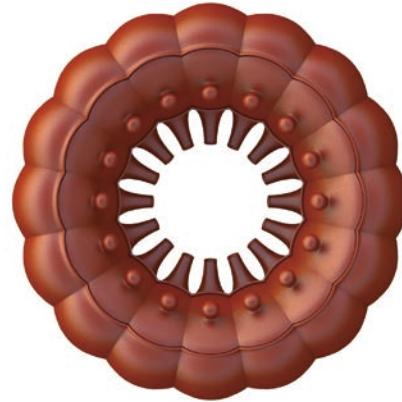
MATSUDA Yu / TANI Yuichiro

「茶の周囲としての急須群」

ACCESS MAP



私たちがデザインと呼んでいるものは、自らの感情や意思などの主体的なものから湧き上がるのでなく、環境や要件などの“対象の周囲”を考えることによって彫り出していく、言わば彫刻のような行為に近い。例えば“茶”について考えるとき、「急須」は最も象徴的な“周囲”である。無作為に変形した急須から別の茶を空想する。



10 北西エリア | 加茂莊花鳥園

狩野 哲郎

KANO Tetsuro

「一本で複数の木」

ACCESS MAP



市議会本会議場に1日のみ存在し、仮想空間の展示となった「1本の止まり木」状のインスタレーションとして構成された作品を、会期中の現実空間では加茂莊花鳥園の桃山時代から代々続く庄屋敷を舞台に「複数の部屋に分割された木々」として再構成する。住空間のスケールに入り込んだインスタレーションの部分は鳥や小動物にとっての屋敷の中に現れた、あららしいけもの道の可能性を示す。

※木曜定休です。



21の特別な要求 / 21 specific requirements, Tetsuro KANO 2021, Courtesy of the artist

AREA DIRECTOR MESSAGE

東エリア ディレクター

夏池 篤

NATSUIKE Atsushi



南エリア ディレクター

平野 雅彦

HIRANO Masahiko



会場は江戸時代の面影を留める日坂の旅籠萬屋・藤文と今は公園となっている本陣跡、茶製造業山英の本社倉庫を予定しています。そこに、その環境をリサーチした6人の作家が、異なる表現領域の作品を展開します。街道に面した住宅には、当時の屋号が木片によって掲げられており、近隣の住民の過去へのリスペクトと、それを今の生活に活かす工夫が感じられます。今回の展示においても、作品のオリジナリティを楽しんでいただくと共に、作品を通してその場の持つ魅力を再発見できるような空間づくりを心掛けました。

たえず「問いかけ」とともに、地域芸術祭はある。アートは地域課題を解決する手段なのか。だれが誰のために開催するのか。美術館と芸術祭との関係はどうあればいいのか。アートは、私たちを幸せにしてくれるのか、それとも混乱させるのか。そもそも、このコロナ禍にあって芸術祭は必要とされるのか。南エリアでは、建築家、詩人、くるまを引き回す一所不在のひとが、問い合わせ、語り合う。モノ自体より、ものがない、ものものしい語りそのモノが作品となる。アートとは、問うこと、そのものではないだろうか。

11

東エリア | 日坂宿 藤文2F+蔵

蔵+他

渡辺 英司

WATANABE Eiji

「蝶瞰図／藤文インスタレーション2021」
「子供の絵のトレース2020」

「藤文」裏手にある蔵の壁や天井、床に蝶図鑑から切り取った無数の蝶の図版を散りばめる。また、幼稚園児が描いた無邪気な消防車の絵を立体物に再現する。

2F+他

大塚 泰子

OTSUKA Yasuko

「空間色／藤文2021」
「水の彫刻2021」

「藤文」2階にリトグラフという版画技法による平面作品を設置する。しっとりとしたモノトーンの空間に鮮やかな色を配することによって、日本家屋の新たな包容力を開示する。

ACCESS MAP



「蝶瞰図」(Cairn Gallery / スコットランド)2009



「空間色」(鳥取県立博物館 / 鳥取)2020

12 東エリア | 日坂宿 藤文 I F

夏池 篠 NATSUIKE Atsushi
「光の籠」

ACCESS MAP



空間シミュレーション

JR東海道線は日坂地区を大きく迂回して敷設されている。その理由のひとつに牛が驚くと反対があったからだと聞いている。おかげで日坂の旅籠は今も当時の面影を留めており、町民は籠レースを毎年実施している。今回はこの地区に流れる様々な時間を「籠」をモチーフに光の速度で体感するインスタレーションとした。

13 東エリア | 日坂宿 萬屋

井上 明彦 INOUE Akihiko
「Twisting Tōkaidō」

ACCESS MAP



イメージスケッチ

道は、未知の世界を既知に変え、むらを、まちを、風景をかたちづくる。道の変化は、むら、まち、風景、世界を変化させる。旧旅籠「萬屋」の前を走る旧東海道が建物内に延び、その道に沿って新しい集落「ニサカ」「新クツカケ村」が作られる。ねじ曲がったもう一つの東海道は、ここではないもう一つの世界につながっている。

14 東エリア | 日坂宿 山英本社倉庫

垂見 幸哉 TARUMI Koya
DESSERT OF DESERT
「鳳 NAGI」「無覚音 白 MUKAKUON BYAKU」
「無覚音 黒 MUKAKUON KOKU」

ACCESS MAP



DESSERT OF DESERT「無覚音」/ 2021

サウンドアーティスト垂見幸哉が手掛けるのは、無意識の音を知覚することをテーマに物理的・生理学的側面へ分野を横断した「音」を素材として扱ったサウンドインスタレーション。普段は無意識のうちに処理されている「音」が視覚現象として空間の中で重なり合わさることで、意識と無意識の反転と知覚の拡張を試みる。

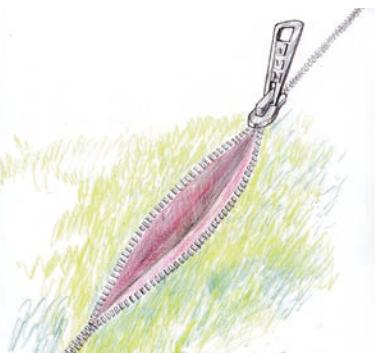
15 東エリア | 日坂宿 本陣跡

北川 純 KITAGAWA Jun
「ジッパー5」

ACCESS MAP



広大な原っぱの真ん中に巨大ジッパーが出現!
パックリ開いた開口部からは何が見えるでしょうか?
あつ、これ以上引っ張らないでください。地球が裂けちゃいますから。



イメージスケッチ

16 南エリア | オンライン配信

平野 雅彦 HIRANO Masahiko

シリーズ・語る「茶エンナーレはもっとおもしろくなる!」(オンライン配信)

「あちこち超日常茶飯事」
トップページ



コーディネーター: 平野雅彦

掛川・大東エリアの風景の中や施設を会場に、参加作家以外の方々と「かけがわ茶エンナーレ」の可能性についてトークし、オンライン配信する(無料配信)。シリーズタイトルは、「茶エンナーレはもっとおもしろくなる!」。地域で生活・活動する人や広くアート活動を支える人の声に耳を傾ける。

17 南エリア | 大東支所展望台

ゆずりは すみれ YUZURIHA Sumire

「34°39'56.07"N 138°03'17.92"E ひとりにて」

ACCESS MAP



「詩と写真 ささめきとたたずみ～『暮らしの音たち』より」展示作品(Nonと共同制作)／2020年

遠州灘や小笠山、富士山などを360° 見渡せる掛川市役所大東支所の展望台に詩人・ゆずりはすみれが、言葉を紡ぐ。展望台の窓から見える景色に詩が重なり、鑑賞者がさまざまな思いを馳せる空間を作り出す。まるで言葉が鑑賞者と景色をつなぐ光であり、影であるかのように。(展示設計:本田郁美)

18 南エリア | 掛川市立大東図書館

たかはし さつき TAKAHASHI Satsuki

「アトリエTRUCK 2」

ACCESS MAP



イメージスケッチ

生きていると、強い閉塞感に襲われることがある。そんな時、言葉を他者と交わすことで、救われる経験もまた、幾度となくある。言葉は文字であり、会話であり、何かに込められた、目には見えないメッセージのこともある。掛川の大地で育った杉材をキャンバスに、それを運ぶ「屋台」、自分から他者へ、過去から未来へ、そして自分自身へと語りかける「言葉」と「時間」全てが作品となる。
※月曜定休です。

19 南エリア | 居沼池

伊達 剛+本間 義章 DATE Tsuyoshi + HOMMA Yoshiaki

「222 生命の星座 ーため池のイマージュ」

ACCESS MAP



photo image by 1/5 scale model

掛川に222もあるため池。そのうちのひとつ、居沼池の畔に《カメラ・オブスクラ》を出現させる。それは、古代から伝わる手法を用いた小さな暗い箱。掛川のため池の座標を示す一面の外壁にひとつの小さな穴をあけ、そこから映し出される外の景色を見る。ため池の存在と共に、「見る」とはどういうことか、あらためて考えたい。

20 全域エリア | 市内全域(代表地点:三の丸広場)

赤堀 マサシ AKAHORI Masashi

「2020+1人のベニヤ人」

ACCESS MAP



市民参加型の芸術祭の目的を果たすとともに、空間アートの新しい見せ方を実現する。作り手の思いを形にしたベニヤ人を作り、置かれたベニヤ人が、周りの風景とひとつになって輝くようにその場所を照らす。



「電動ノコギリで、ベニヤ板から形を切り抜く」

21 オンラインエリア

狩野 哲郎 KANO Tetsuro

「一本で複数の木」

「あちこち超日常茶飯事」
トップページ



枝や石などの自然物、既製品の食器や花瓶、釣り具や骨董品などさまざまな素材を元の意味や機能から切り離し、鳥のためのあたらしい「止まり木」としてのインスタレーションを展開。舞台となる議場の円形で高さのある空間を生かした、一本の木のように配置された作品は、高精細の仮想現実上では現実の私達以上に鳥のように近づいて高い部分を見ることも可能となる。



「一本で複数の木」 / Protean wood, Tetsuro KANO 2021, Courtesy of the artist

22 オンラインエリア

片岡 祐介×マスダカルシ KATAOKA Yusuke × MASUDAKARUSHI × Takasago Chemical Engineering Co., LTD.

「高砂ミックス」

「あちこち超日常茶飯事」
トップページ



音楽家・片岡祐介は、新聞切り絵作家マスダカルシと(株)高砂ケミカルの工場にある見慣れぬ装置「ミキサセトラ」の攪拌、分離、循環をする機能に着想を得て、物語を奏でる。

(株)高砂ケミカル…掛川市国安に工場を構える、フレーバー(食品香料)、フレグランス(香粧品香料)を中心に製造を行う会社

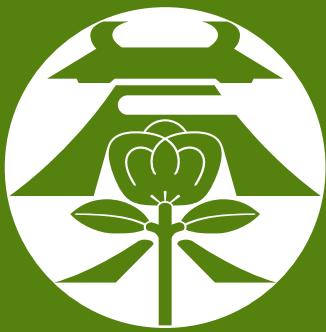


純セレブスピーカー (2018~)

みんなの茶文化

「茶文化創造」をテーマに、
掛川市民それぞれの思いを形にした、
“茶産地”掛川市の誇るべき文化芸術を
発信していきます。

※新型コロナウィルスの感染状況により、
内容が変更となる場合があります。



㉔ ①街中美術館茶エンナーレバージョン ②おかみ茶屋

- ① ①10月16日(土)～18日(月)、11月13日(土)～15日(月)
②10月16日(土)、11月13日(土)～15日(月)
- ② ①掛川駅北口中心市街地
②We+I38
- △ おかみ茶屋 掛川市駅前7-20
- △ 掛川おかみさん会
- ①10月「掛川市立城北小学校」、「掛川市立中小学校」の児童作品40点
11月「掛川市立すこやかこども園」、「掛川市立三笠幼稚園」
- ②「おかみさん市」にて「おかみ茶屋」を開設します。

㉖ 風と笑顔と、茶のご縁

- ① 10月16日(土)～11月14日(日)
- △ NPO法人 風の家
- △ 掛川市緑ヶ丘1-9-5
- △ NPO法人 風の家
- ①湯茶接待・しおり・プラパンプレゼント
「居場所」「食堂」に来てくれた方に、期間中、いつも出しているお茶とは違う、少し高級なお茶を飲んでいただきます。B型事業所の利用者が手作りしたしおり、プラパンを無料でプレゼントします。
- ②11/13(土)9:30～11:30
屋内外(晴天時)で「おいしいお茶とお菓子を楽しむ」イベント開催予定。
煎茶・抹茶とちょっとしたお菓子を出します。雨天時は室内で行います。

市民プログラム

まちなかエリア

㉓ くじドロワークショップと アーカイブ展示

- ワークショップ 10月16日(土)、17日(日) 10:00～16:00
展示 10月16日(土)～11月14日(日) 9:00～17:00
- 掛川市立中央図書館(展示)・大日本報徳社冀北学舎(ワークショップ)
- △ 掛川市掛川1148-1(中央図書館)
- △ 乾久子とチームくじどろ

くじびきドローイングは、言葉と絵で誰かとつながるお絵かきのワークショップです。ワークショップでは、『ちや』のつくことばでつながります。図書館の展示では、これまでのくじドロ作品すべてが閲覧できます。150冊の『本』におさめられたくじドロの世界があなたをお待ちしています。公式ホームページ『くじびきドローイングのすべて』

㉕ まちなかアートマップ

- 市内各所で配布
- △ NPO法人 掛川の現代美術研究会

掛川まちなか商店と掛川城周辺の文化施設+掛川駅周辺のパブリックアートを掲載したマップ作成。最新MAP及びイベント情報等を掲載して茶エンナーレ期間中に配布します。

●終了プログラム

- 10月3日(日)
△ まちかどLABORATORY
△ 掛川市城下6-16

掛川のまちのパブリックアートが設置された経緯や作者の思いをレクチャーし、まちなかアート博士を育成します。掛川のまちに出かけたときに掛川のアートのおはなしを聞いて、実際に作品を見てみましょう。

㉗ アトリエ&ラボ 横さんち

- 10月17日(日)～11月14日(日) 13:00～17:00
- △ 駄菓子屋 横さんち
- △ 掛川市城下7-10
- △ 駄菓子屋 横さんち

「お茶と駄菓子」をテーマとして、横さんちらしくITや福祉の視点を取り入れた展示を行います。健康にグッドなお茶、子どもたちの知的好奇心にグッドな駄菓子、そして社会に対してグッドな横さんち。これらを掛け合わせて、社会にグッドでヘルシーで、ポジティブな茶文化を提案します。お茶をテーマにしたワークショップのほか、店内窓ガラスを利用した参加型アート、駄菓子に合うお茶の飲み方の提案を行います。

㉘ Earth Concerto

- ① 10月29日(金)～11月14日(日)
オンラインは10月16日(土)～11月14日(日)
- ✉ 掛川市立中央図書館+オンライン展示
- △ 掛川市掛川1148-1(中央図書館)
- △ 渋田薰



世界農業遺産「静岡の茶草場農法」。良質なお茶の生産を支える伝統的な技術が、そこにすむ生き物を守っています。
世界は音で繋がっているという考えを元に掛川の茶草場農法をアートに表現。オンラインと図書館、世界どこからでも鑑賞できる展示です。
協力:Antique Cafe Road、金綱志保

㉙ My「掛川茶染めマスク」を作ろう!

- ① 10月31日(日) ①9:30～ ②13:30～
- ✉ JA掛川市あぐりきっちゃん
- △ 掛川市弥生町234
- △ 茶話の会

1000円

・白いコットンマスクを掛川産のお茶で染め、My「掛川茶染めマスク」を作ります。(数種類のお茶の中から1つ選びます)
・チケットお茶講座(お茶・お菓子付き)

市民プログラム

北西エリア

㉜ 茶演奏～秋風にそよぐ茶の香りと音楽～

- ① 11月13日(土) 13:00～16:00
- ✉ さくら咲く学校
- △ 掛川市萩間423
- △ 太鼓塾アブラナ

2000円
中学生以下
無料

お茶の試飲会を兼ねた音楽祭を行います。第1部に、本年結成した音楽プロジェクトグループ Di-Ni-M が生演奏をお届けします。また、原泉には笠懸山と呼ばれる所があり、その昔、徳川家康が原泉に迷いこみ地域の人達がお茶を振舞ったという伝説が残っています。第2部では、このお話を元にした語り作品をご覧いただきます。晩秋の自然の中で素敵なお時間を過ごしてください。

㉚ 掛川茶(深蒸し茶)の本当の良さを知ろう

- ① 10月24日(日)
- ✉ まちかどLABORATORY
- △ 掛川市城下6-16
- △ 静風流

500円

1. 茶葉の作り方によって、味が異なる深蒸し茶、普通煎茶、玉露
2. 一回の茶葉で何回飲めるかを知ってもらいます。
3. 急須で出すお茶の良さを知ってもらいます。(ペットボトルとの違い)

㉛ お茶と邦楽の世界(第12回 長唄鑑賞会)

- ① 10月16日(土)～11月14日(日)
- ✉ Web配信(茶エンナーレホームページからご覧いただけます。)
- △ 富栄寿多(ふえすた)

演目:二人椀久(にんわんきゅう)
出演者:杵屋勝彦、杵屋勝九郎 ほか
掛川祭りの余興として親しんでいる「長唄」や「端唄」が、堅苦しい遠い存在のものではなく、日頃の生活に溶け込んでいるお茶と同じ、「何気ない生活の中にあるもの」として再認識していただきたいと思います。

㉜ 徳川家康と山内一豊～小夜の中山物語～

- ① 10月16日(土) 15:00開演(14:30開場)
- ✉ 桜木ホール(西部ふくしま隣)
- △ 掛川市下垂木1270-2
- △ 劇団静岡県史

投げ銭制



今回は、天下人・徳川家康と掛川城主・山内一豊との物語を描きます。一豊は豊臣秀吉の家臣として家康と敵対していましたが、関ヶ原の戦いの際には秀吉の家臣である石田三成率いる西軍ではなく、家康の東軍として戦いました。何故そうなったのか?又、そのきっかけとなったであろう掛川市久延寺での一豊の家康へのおもてなしとは?お茶の席は、如何に人の心を近くするのかをご覧ください。

※コロナ禍の状況により、現地開催は中止、Web配信になる可能性あり(詳細は劇団ブログをご覧ください)

㉝ 北限の茶畠とFSC認証林を巡るスケッチ&E-MTBツアー

- ① 11月13日(土)
- ✉ 掛川市原泉地区
- △ 掛川市大和田320-1
- △ 掛川市森林組合

12100円

掛川市の北部に広がる茶畠と、FSC認証林をE-MTBで巡るサイクルツアーアイデアです。E-MTBの走行は体力的な負担が少なく景色を眺めながら走ることに適しているため、森林とともに育んできた地域社会を容易に感じることができます。いわゆる里山の文化的、自然が織りなすアートを見ながら、その根幹ともいえる山・森林も巡ることができるサイクルツアーアイデアです。途中、参加者が見聞きしたことを簡単にスケッチする企画もしています。

市民プログラム

東エリア

36 東海道日坂宿江戸末期の川坂屋見学と掛川偕楽園の茶室でお茶会

① 10月30日(土)、31日(日)、11月6日(土)、7日(日) 10:00～15:30

▣ 川坂屋、掛川偕楽園茶室

△ 掛川市日坂149-1

△ 川坂屋管理運営ボランティアの会

・掛川偕楽園に建てたと言われる築210年の茶室にて、江戸期の雰囲気を味わってもらうお抹茶の接待(有料)を行います。

・川坂屋には、湯茶を接待する釜を設置したスペースが残っています。このスペースを活用して日坂の深蒸し茶の無料呈茶サービスを行います。

38 TIMEEMIT LIVE「茶縁(CHAEN)」

① 11月6日(土) 18:00～19:30(予定)

▣ 東山茶工場

△ 掛川市東山1821-12

△ Tea of the Men

投げ銭制

東山にある茶工場にて、パフォーマンスを行います。

11月6日(土)の夕方からパフォーマンスをスタートし、2部構成で約1時間半のコンテンツになります。茶工場の機械にプロジェクションをし、舞台も茶工場にあるものを使って作り上げます。今回、掛川でフィールドコーディングした「お茶の音」も使った演出を行います。

パフォーマンスとお茶の音がコラボする新体験を提供します。

市民プログラム

南エリア

**35 アートペアリングプロジェクト
(Tea of the Men×ゆるアコ)**

① 11月6日(土) 17:30～18:00

▣ 映像上映 東山茶工場

△ (収録 WACCA)

△ アートペアリングプロジェクト(Tea of the Men×ゆるアコ)

■アートペアリングライブ(web配信)

20分の音楽ライブを2回東京・池袋のWACCAの1階で行います。アーティストがつくりたい場の空気をつくるのにお茶が作用したり、お茶がもたらす気づきでアートをより体感できるようになると考えています。

**37 粟ヶ岳ファミリーゴルゲイニングin東山
&縁側カフェ**

大人3000円

子ども1500円

① 11月3日(水祝) 9:00～15:00

▣ 東山地域生涯学習センター及び粟ヶ岳・その山麓周辺

△ 掛川市東山1265-1(東山地域生涯学習センター)

△ かけがわ粟ヶ岳山麓農泊推進協議会

東山を中心とした粟ヶ岳山麓をフィールドに、大人からこどもまで楽しめるロゲイングイベントを開催します。ロゲイングとは地図を用いたナビゲーションスポーツで、エリア内に設ける数十個のチェックポイントを歩いて巡り、獲得したポイント合計点と制限時間内でのタイムを競うアウトドアイベントです。チェックポイントやゴールのおもてなしブースでは縁側カフェを開催し地元の深蒸し茶やお茶請け等、お茶どころならではの食の魅力をお楽しみいただきます。

39 デジタルアート～大好き日坂・東山～

① 学校ホームページをご覧ください

▣ 川坂屋

△ 掛川市日坂149

△ 掛川市立日坂小学校

日坂・東山らしさをデジタルアートで表現します。日坂・東山には豊かな自然、お茶畠、歴史ある建物、お祭りなど素晴らしい環境が整っています。地元が大好きな子どもたちが、日坂・東山を「色・形・動き」を組み合わせた模様で表します。また、日坂宿を歩いて、作品を紹介する場所をみんなで探しました。当日は、14人の作品をつなげて1つの作品にして発表します。たくさんの方々に、日坂・東山らしさを伝え、関心をもっていただけたら嬉しいです。

40 投句箱(俳句優秀作品展示)

① 10月16日(土)～10月22日(金)

▣ 掛川市立大東図書館ロビー

△ 掛川市大坂7152

△ 掛川市文化協会

掛川茶にちなんだ俳句を市内3カ所に設置してある投句箱に令和3年8月と9月の2ヵ月間募集します。投句の中から優秀作品を10月16日から10月22日の間、大東図書館ロビーに展示します。投句箱を活用し市内の各城へ訪れた方、城郭ファンやこれまで俳句等の関わりの少なかった市民から投句をいただくことで掛川茶を再確認していただきます。

④ mokomoko2020+I-home ground-

① 10月16日(土)～11月14日(日)

▣ 大東土方エリア

△ モコモコグランドアートプロジェクト

国民文化祭しづおか2009以来顕在化してきた大東土方エリア特有の地形「モコモコ」。特徴的な起伏を有する風景は、そのものがほっこりとした優しさを纏うグランドアートです。

農風景の「美」を切り取り、中に置かれた作品、置かれた情景、作品をめぐる人の活動すべてが、モコモコから生まれた作品としてアートで表現します。

⑤ 農家の蔵ギャラリーと 庭カフェで愉しむ掛川茶

① 10月30日(土) 10:00～16:00、31日(日) 10:00～15:00

▣ 鈴藏及び寶珠寺

△ 掛川市西大渕880

△ 鈴藏保存活用研究会

400円

農家の蔵を活用したギャラリーを開催します。蔵のイメージにあった民族関係の作品を中心に展示します。さらに来年の干支にちなんだ「ぼち袋」の制作体験を開催予定です。晴天ならば、新型コロナウイルス感染症対策のため解放された農家の庭先や軒下で、「農家の庭カフェ」として掛川茶などを提供します。寺院とのコラボレーションとして、隣接する寶珠寺にて写経の体験会を開催します。座禅会も寺院の都合により開催予定です。

⑥ 企画提案プログラム 文化振興プログラム

▣ 大須賀中央公民館 △ 掛川市西大渕145

茶エンナーレ企画展

●鼎談「人をはぐくむ」

▣ 茶エンナーレYouTubeで配信

掛川市長・大日本報徳社社長 鷺山恭彦さん、掛川市社会福祉協議会副会長 水野幸雄さんによる、座談会。伝統文化の継承やアートイベントの可能性など、心に響くワードを見つけてほしい。

●市民参加による舞台づくりのワークショップ 「未来へ」 ～三社囃子のなか、繰り広げられる物語～

▣ 茶エンナーレYouTubeで配信

畏れ・祈り・希望…コロナ禍で感じた思いを書いた「言の葉」を募集し、お囃子の太鼓をバックに朗読、コンテンツラリーダンスとの共演。参加予定：三社祭囃子保存会・横高郷土芸能部・楓の会ほか

●谷正輝 syncasync

▣ 茶エンナーレYouTubeで配信

現代アート作家谷正輝さんによる映像・彫刻・インスタレーションの作品。テーマは「間合い」です。距離というキーワードによって今世界を物語ることができます。

⑦ とうもんの風景写真展

① 10月16日(土)～11月14日(日) 9:00～16:00(火曜日休館)

▣ とうもんの里総合案内所ロビー

△ 掛川市山崎233

△ NPO法人とうもんの会

茶園・田んぼ・海岸線などとうもんの里の風景写真の公募作品展です。

・作品のサイズ A4サイズ

・参加賞 とうもんの茶・米・野菜詰め合わせ

・展示 上記の期間ロビーに展示

・観覧自由(火曜日は休館日につき、それ以外の9:00～16:00)

・秋色ウォーク～まちなか散策～11月7日(日)9:00～12:00

15名募集(有料)

⑧ 掛川の喫茶スタイル 創造ワークショップ

① ①10月24日(日)14:00～16:00 ②10月30日(土)18:30～20:30

③11月5日(金)13:00～15:00

▣ ①貞永寺 ②報徳社 ③日本茶カフェ「茶の庭」

1000円

△ 日本茶インストラクター協会掛川支部

テーマごとに講師をお招きし、お茶の歴史と風景の中に受け継がれた「想い」にふれ、掛川ならではの喫茶の風景を再発見する気軽なワークショップを開催します。各回、テーマに合わせた掛川茶アレンジティーをお楽しみいただき、その風景を写真家が撮影。現在計画中の「掛川の喫茶八十八景」プロジェクトの第一歩とします。楽しいお茶の時間を一緒にしながら、皆さんのが語り合いましょう。

●田中陶山回顧展「ひとつとつち」

① 11月6日(土)～11月14日(日)(予定) 9:00～17:00 月曜休館

地元の小笠山の土にこだわり、独自の「書陶」といわれる作風を生み出した陶芸作家、田中陶山さんの回顧展。作品のほか、故人が陶芸に打ち込んだ軌跡や遺された「つち」も展示。

●ぬく森

① 10月26日(火)～11月14日(日) 9:00～17:00 月曜休館

開園したばかりの「よこすかぬく森こども園」の年長さんが新聞紙を使ったアートに挑戦。元気いっぱいのこどもたちが協力して公民館ロビーにおおきな立体作品を創ります。

●シンカシンク syncasync パフォーマンスイベント

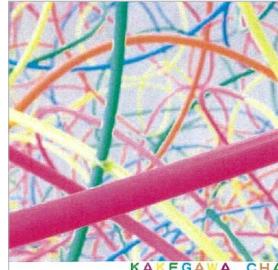
① 10月16日(土) 17:00～

syncasync(シンカシンク)の空間を舞台に静岡県舞台芸術センター(SPAC)所属の女優、関根淳子さんによるパフォーマンスイベントを開催します。ライブ配信<https://www.masaki-tani.com/>

④かけがわ茶エンナーレ2020+I 煎茶パック

① 期間中に市内各所で配布

「かけがわ茶エンナーレ2020+I」
参加アーティスト5名のデザインによる、
「お茶×茶エンナーレ」の
煎茶パック5種類が完成しました。
素敵な作品を見ながら、
おいしい“深蒸し掛川茶”をお楽しみください。



〈鬼頭健吾〉



〈田中彰〉

ARTIST

参加アーティスト

- 鬼頭健吾
- 田中彰
- マスダカルシ
- 井上明彦
- ゆずりはすみれ



〈マスダカルシ〉



〈井上明彦〉



〈ゆずりはすみれ〉

⑤かけがわ茶エンナーレ2020+I インスタフォトフェスティバル

① 9月1日(水)～11月30日(火)

お茶畠の風景や、暮らしの中にあるお茶、また茶エンナーレの様子など、「お茶のある風景」をテーマとした写真を投稿して、みんなで茶エンナーレを盛り上げましょう。

写真是Instagram(インスタグラム)からの応募となります。かけがわ茶エンナーレ(chaennale)アカウントをフォローしていただき、写真の投稿時に「#茶エンフォト」をつけてください。詳細は、ホームページをご覧ください。

⑥茶畠ウォーキングin栗ヶ岳

① 11月14日(日) 9:30～15:00(受付8:45～)

② 掛川バス倉真線『倉真温泉バス停』駐車場

300円

栗ヶ岳山頂を目指し、参加者の皆さんと楽しくウォーキング(ハイキング)します。茶畠の中、栗ヶ岳の秋を感じてみませんか？
ルート(片道5.3km)

倉真温泉バス停→馬平→樅辻→南平広場下→南平広場→阿波々神社→栗ヶ岳山頂※昼食(12:00～13:00)→南平広場下→樅辻→見晴の丘→貝太郎辻→尾根道ルート→宝殿神社→倉真温泉バス停駐車場(到着後、解散)

⑦お茶スポット かけがわ茶エンナーレ2020+I

① 手打ち蕎麦くにえだ
△ 掛川市三俣1568-1
・そば茶(無料)
・変わり蕎麦「茶切り」(有料)

① 日本茶きみくら本店
△ 掛川市板沢510-5
・試飲(無料)
・お茶とスイーツセット(有料)

① きみくらカフェ
△ 掛川市大池2242-1
・お茶ドリンク
・お茶とスイーツセット(有料)

① 三重大製茶株式会社
△ 掛川市大野707-1

・自社店舗内にて商品販売
・湯茶接待(無料)
・希少品種のお茶で作った
クラウンこみなみ(フィナンシェ)
の販売

① お茶処 東山
△ 掛川市八坂882-1
・深蒸し掛川茶の販売
・テイクアウト用お茶の販売

① 株式会社山英
△ 掛川市日坂121
・お茶の無料サービス

① 茶の庭
△ 掛川市上内田389-1
・テイクアウトのみ(有料)

① まちかどLABORATORY
△ 掛川市城下6-16
・お茶の無料サービス

タイアップ プログラム

「かけがわ茶エンナーレ2020+1」が
掛川市内の企業や団体と連携して行う
プログラムです。

※新型コロナウィルスの感染状況により、
内容が変更となる場合があります。



52 MOA美術館コレクション 歌川広重 保永堂版 東海道五十三次展

- ① 10月16日(土)～11月14日(日) 9:00～17:00 休館日10月9日(土)～15日(金)、25日(月)
■ 掛川市二の丸美術館
△ 掛川市掛川II-142-I
□ 掛川市二の丸美術館

※変更・延期・中止になる可能性があります。
最新情報は当館HPにてご確認願います。

浮世絵師 歌川広重の代表作「保永堂版 東海道五十三次」より、県内の宿場を中心に各地の名所を織り交ぜながら紹介します。これに加え、その後に出版された「隸書東海道」を展示し、その違いも見比べながらお楽しみ頂きます。各地の名物、季節や天候の変化、道中のさまざまな情景や人々の営みを情緒豊かに表現した江戸の旅をお楽しみください。

54 オチャノハインスタレーション

- ① 2019年4月23日(火)～2021年11月14日(日)
■ 掛川市役所
△ 掛川市長谷I-1-I
□ 株グリーンディスプレイ

この作品は、お茶の葉をモチーフにして制作されました。お茶をイメージした掛川市役所庁舎とリンクして、市役所を訪れるお客様を「お茶」でお迎えします。また、「オチャノハ」に包まれることで、お茶を五感で感じる空間とします。資材には、掛川の里山や茶畑の土、竹、木材や、掛川特産品の葛ヒモを使用しています。



50 美術館で、過ごす時間 2021 館蔵品展 後期 現代陶芸・金工と油彩

- ① 8月3日(火)～10月29日(金) 10:00～16:30(入館16:00まで) 休館日(土・日・月)
■ 資生堂アートハウス
△ 掛川市下俣751-I
□ 資生堂アートハウス

※会期が変更になる場合がございます。
最新情報はHPに掲載いたします。

現代陶芸と金工、油彩による館蔵品展です。現代陶芸は加守田章二や八木一夫、鈴木治の作品を展示、金工は「彫金」の重要無形文化財保持者(人間国宝)である内藤四郎をはじめ、鋳造の染川鐵之助と西大由、京都の金師、三代吉羽與兵衛の作品を展示いたします。油彩は、資生堂が主催した「第三次椿会」メンバーの牛島憲之、岡鹿之助や中谷泰による風景画を中心にご紹介いたします。

51 資生堂企業資料館

- ① 毎週金曜日 10:00～16:30(入館16:00まで)
■ 資生堂企業資料館
△ 掛川市下俣751-I
□ 資生堂企業資料館

資生堂企業資料館は、創業120周年を迎えた1992年(平成4)に開設しました。館内では、長い歴史の中で生み出された商品や宣伝制作物をはじめとする様々な資料を一元的に収集・保存し収蔵品の一部を展示公開しています。



53 箏とピアノリサイタル 箏:鈴木紀恵子、ピアノ:袴田麻純

- ① 11月14日(日) 〈第1部〉15～16時、〈第2部〉17～18時
■ Gala工房
△ 掛川市長谷I丁目15-6
□ MUSIC & ART Support Classic

2500円
(各部)

〈第1部〉
・宮下伸:箏とピアノのための水琴抄
・ピアソラ:オブリビオン～リベルタンゴ(メドレー)
・伊藤エイミーなどか:箏とピアノのための二重奏『風の精』 他
〈第2部〉
・ショパン:ノクターン 作品9-2
・ショパン:ポロネーズ 作品53『英雄』 他

55 HARAIKUMI ART DAYS! 2021 ～Interaction～

- ① 10月14日(木)～11月28日(日) 10:00～16:00 月・火・水 休業
■ 旧原泉第二製茶工場、旧田中屋
△ 掛川市萩間702、掛川市黒俣545-I
□ 原泉アートプロジェクト

完全
ドネーション
制

掛川市内北部に位置する原泉地区で、国内外の現代アーティスト12組が滞在制作の場(アーティスト・イン・レジデンス)に参加し、制作のプロセスから作品の発表までを総称した展覧会です。イベント内には、絵画や造形、インスタレーションなどの展示以外にも、原泉にて制作されたパフォーマンスの公演、アーティストによるワークショップなども行われます。アートストアではオリジナルグッズなどをゲットすることができます。

56 ねむの木こども美術館

- ① 常時展示 10:00～17:00(入館16:30まで)
- ねむの木こども美術館
- △ 掛川市上垂木3399-1
- △ 社会福祉法人ねむの木福祉会、学校法人ねむの木学園

ねむの木学園は、女優宮城まり子が創設した障害をもつこどもたちの施設であり学校です。森と庭園に囲まれた小さな美術館で、ねむの木学園のこどもたちが描いた個性豊かな作品を多数展示しています。大胆な構図と鮮やかな色彩に彩られた数々の絵画は、こどもたちの無限の可能性と心の温かさ、優しさ、強さを感じさせてくれます。



58 掛川市吉岡彌生記念館企画展 「明治のくらし-彌生が過ごした村-」

- ① 9月11日(土)～11月14日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日:月、第4火
- 掛川市吉岡彌生記念館
- △ 掛川市下土方474
- △ 掛川市吉岡彌生記念館

明治4年3月10日、吉岡彌生は現在の静岡県掛川市に生まれました。明治時代は、西洋の文化を積極的に取り入れ、制度や習慣が大きく変わった節目です。とはいえ、一般家庭に電気や水道、ガスなどは、まだ普及していませんでした。人びとは、どのような生活を送っていたのでしょうか。生活道具などから、当時の暮らしを紹介します。

60 遠州横須賀街道 ちっちゃなちっちゃな文化展

- ① 10月22日(金) 13:00～17:00、23日(土) 9:00～21:00、24日(日) 9:00～17:00
- 横須賀地区 遠州横須賀街道沿い
- △ 遠州横須賀倶楽部、掛川観光協会大須賀支部

遠州横須賀街道ちっちゃな文化展は、新型コロナウイルス感染の影響により、名称を「遠州横須賀街道ちっちゃなちっちゃな文化展」として、一部事業を縮小し開催します。「ちっちゃな文化展」は、遠州横須賀に残る古き良き街並みをそっくりそのまま美術館にしてしまおうというイベントです。今回も市内外の作家によるバラエティ豊かな芸術作品が、町のいたるところに飾られます。

62 掛川市民芸術祭

- ① 11月19日(金)～12月19日(日)
- △ (公財)掛川市文化財団

オンライン
プログラム



毎秋恒例、市民による芸術作品の祭典「掛川市民芸術祭」を開催します。今年は一年越しでの会場展示を目指し調整してまいりましたが、惜しくも昨年同様、全作品の展示はWEB展示となってしまいました。絵画、彫刻、手工芸、写真、書道の各部門で、市民の皆様から寄せられた作品を掛川市文化財団ホームページにてWEB展示し、受賞作品は、11月19日(金)から12月19日(日)まで二の丸美術館にて開催される掛川市民芸術祭優秀作品展で展示します。是非ご覧ください。

57 吉行淳之介文学館

- ① 常時展示 10:00～17:00(入館16:30まで)
- 吉行淳之介文学館
- △ 掛川市上垂木3190-1
- △ 社会福祉法人ねむの木福祉会、学校法人ねむの木学園

吉行淳之介は、芥川賞受賞作「驟雨」のほか、「砂の上の植物群」、「暗室」、「夕暮れまで」など、愛と性を探求した作品を数多く発表した小説家です。吉行淳之介の原稿や遺品などを多数展示しており、彼の人生や作品の背景に触れることができます。茶室「和心庵」も併設され、ねむの木学園のこどもたちによるお点前も体験できます。



59 二科会写真部静岡支部選抜作品展

- ① 10月7日(木)～24日(日) 9:00～17:00 月曜休館
- 掛川市立大須賀図書館2階ギャラリー
- △ 掛川市西大渕63-2
- △ (一社)二科会写真部、掛川市

二科会写真部創設会員で写真家の故 大竹省二氏の出身地である掛川市大須賀で、写真の世界を幅広い世代に知つもらうことを目的に毎年開催しています。会場では静岡市で開催された「(一社)二科会写真部静岡支部公募展」で一般、二科会会員の応募作品の中から選抜された写真のみ展示します。作品のテーマは自由で、人物や動物、風景などジャンルは様々です。

61 第26回全国報徳サミット 掛川市大会

オンライン
プログラム



- ① 11月6日(土) 13時00分～
- △ 掛川市報徳サミット実行委員会

社会の未来を見据え、私たちができる事を考えるために、尊徳翁ゆかりの市町村がインターネットを介して一堂に集い、全国報徳サミットを開催します。現代におけるSDGsの取り組みは報徳思想と重なるところがあり、情報技術の発展なども踏まえながら、新たな時代の流れを活力に変える視点を持つことも大切です。サミットを通じてさまざまな課題解決策を探り、将来にわたって誰もが健やかで安全に暮らし続けられる持続可能な社会(まち)を目指します。当日の様子をインターネットで中継します。ぜひご覧ください。

63 東海道シンポジウム in 掛川宿・日坂宿 宿駅は現代(いま)も 生きている。



オンライン
プログラム

- ① 10月16日(土) 13:00～15:45
- △ NPO法人 歴史の道 東海道宿駅会議

現在の状況下において、東海道シンポジウムをオンライン開催し、「いまできる観光まちづくり」を模索します。小和田哲男氏の基調講演をオンライン配信するとともに、掛川宿・日坂宿の各拠点を中継して、自宅にいながら楽しめるバーチャルツアーを開催します。ぜひ、ご自宅のパソコン・スマホからお気軽にご視聴ください。

てのひら ミュージアム

ニューノーマルな時代の芸術祭として、
ご自宅から作品の観覧ができる
デジタル配信や、デジタルを活用した作品など、
新たな取り組みを「+」に込めて、お届けします。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどから、
いつでも、どこでも、「かけがわ茶エンナーレ」の
作品を鑑賞いただけます。
デジタル＆リアルのツイン展示に取り組みます。



⑥⁶ てのひらに「360° 美術館」

普段、市民のみなさんが入ることのできない空間に作品を設置し、デジタル技術により360° 立体的に映像化しました。施設内を歩き回るような体験ができる、360° 美術館を開館します。

鑑賞はこちらから



⑥⁸ てのひらに「茶エンナーレツアー」

市内各エリアの作品を、動画で案内するツアーです。
映像により、観光スポットの紹介や各エリアの散策体験ができます。
※映像は順次公開となります。

鑑賞はこちらから



⑥⁴ てのひらに「あちこち超日常茶飯事」

アーティストと市民がともに創りあげた作品を映像化。
いつでも、どこでも、茶エンナーレの作品を鑑賞できます。
※映像は順次公開となります。

鑑賞はこちらから



⑥⁵ てのひらに「みんなの茶文化」 市民プログラム

「茶文化創造」をテーマに、みんなの思いを形にした「市民プログラム」を、動画や写真により公開します。
※映像は順次公開となります。

鑑賞はこちらから



⑥⁷ かけがわ茶エンナーレ2020+I インスタフォトフェスティバル

皆さんの「お茶のある風景」を募集しています。身近にあるお茶のある風景や暮らしの中にあるお茶を撮影し、Instagram(インスタグラム)に「#茶エンフォト」をつけて投稿してください。



投稿はこちらから



実行委員会 プログラム

実行委員会が実施するプログラムです。

※新型コロナウィルスの感染状況により、
内容が変更となる場合があります。

⑥ 総合案内所まちかどLABORATORY

① 7月31日(土)～11月28日(日) 9:30～16:30

■ まちかどLABORATORY

△ 掛川市城下6-16

「かけがわ茶エンナーレ2020+I」の総合案内所です。「このプログラムどこでやってるの?」「今日のおすすめは?」等、気になることや、わからないことがありますたら、お気軽にお尋ねください。また、ワークショップや動画配信ができるスペースもあります。文化活動発信の新しい形も体験してください。※スペースは事前予約制です。

⑦ 天浜線「茶エンナーレ号」運行

① 2019年11月28日(木)～2022年3月下旬

天竜浜名湖鉄道は、掛川駅と新所原駅を結ぶ鉄道で、沿線住民の日常を支え、多くの人に愛される鉄道です。この車両を茶エンナーレのデザインでラッピングし、アートファン、市民、近隣市町の皆さん、観光客や列車の好きな方まで、幅広い層の方に「かけがわ茶エンナーレ2020+I」をPRします。

ラッピング車両の
運行情報はこちらから



⑧ SOMOSOMO

「掛川の現代アート茶道具展」 なぜ掛川で現代アートか? ～初まり 始まり～

① 展示 10月16日(土)～11月14日(日)

茶会 10月17日・23日・24日・30日・31日

11月3日・6日・7日 13:00～17:00

■ 大国屋本店 茶室空間

△ 掛川市駅前5-12-103

現代アート作家がつくった茶道具を使って、茶会をします。

2000円
(茶会)

かけがわ茶エンナーレ
2020+I の情報はこちらから

ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube



様々なイベント、
活動の様子を動画で
配信。期間中は、
アーティストプログラム、
市民プログラムなどを
配信予定

観光マップ







INFORMATION

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更になる場合があります。

	施設名	住所	鑑賞可能時間	定休日	お問い合わせ	入館料
P5	❶ 掛川城 竹の丸	掛川1200	10:00~16:00(入場15:30)	—	0537-22-2112	大人100円、小中学生50円、小学生未満無料
	❷ 南郷地域生涯学習センター「弥八庵」	上張192-1	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—
P6	❸ ❹ 大日本報徳社	掛川1176	10:00~16:00(入場15:30)	—	0537-22-3016	大人200円、中学生以下無料
	❺ We+138	駅前7-20	10:00~16:00(入場15:30)	—	0537-21-1126	—
P7	❻ YAMAZAKI PARADISE	中央高町17付近	10/16、17、18、29、30、31 11/5、6、7、12、13、14 9:00~16:00	左日程 以外	赤鬼直通 070-1595-4406 LINE ID: a.k.a.oni	—
	❼ まちかどLABORATORY	城下6-16	10:00~16:00(入場15:30)	—	0537-21-1126	—
P8	❽ 鈴木ストアー(仮店舗)	本郷23-6	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—
	❾ 原谷民家	本郷22-1-1	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—
P9・10	❿ 加茂莊花鳥園	原里110	10:00~16:00(入場15:30)	木曜日	0537-26-1211	大人1000円、小学生以下無料
	⓫~⓯ 日坂宿	日坂	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—
P11	⓯ 大東支所展望台	三俣620	月~金 8:30~17:15(入場16:45) 土日祝 10:00~16:00(入場15:30)	—	平日 0537-72-1111	—
	⓯ 挂川市立大東図書館	大坂7152	9:00~17:00(入場16:30) 木 9:00~19:00(入場18:30)	月曜日	0537-72-1143	—
P12	⓯ 居沼池	大坂3456-33	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—
	⓯ 三の丸広場(10/16、17)、市内各所	掛川1114-2-2	10:00~16:00(入場15:30)	—	—	—

各種交通
インフォメーション

観光タクシー

掛川タクシー株式会社

☎ 0537-22-3233

☎ 0120-37-3255

株第一通商ライフタクシー

☎ 0537-23-6226

☎ 0120-23-2433

レンタカー

トヨタレンタリース静岡

☎ 0537-22-0100

住 所: 静岡県掛川市南1-2-1

営業時間: 8:00~20:00

タイムズカーレンタル掛川新幹線口店

☎ 0537-62-4130

住 所: 静岡県掛川市亀の甲1-1-6

営業時間: 10:00~18:00

オリックスレンタカー

☎ 0537-61-8543

住 所: 静岡県掛川市亀の甲1-18-3

営業時間: 9:00~19:00(日・祝~18:00)

日産レンタカー

☎ 0537-22-4123

住 所: 静岡県掛川市南1-5-1

営業時間: 8:00~20:00

■主催：かけがわ茶エンナーレ実行委員会、掛川市

■支援：アーツカウンシルしずおか



アーツカウンシルしずおか
ARTS COUNCIL SHIZUOKA

<アーツカウンシルしずおかとは>

「アーツカウンシルしずおか」は、まちづくりや観光、国際交流、福祉、教育、産業など、社会の様々な分野と文化芸術を結び付け、社会課題への対応や地域の活性化を目指す住民主体の創造的な活動を支援します。

■助成：令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、一般財団法人自治総合センター、静岡県市町村振興協会



■協賛：



資生堂企業資料館
SHISEIDO CORPORATE MUSEUM

資生堂アートハウス
SHISEIDO ART HOUSE



明治安田生命



掛川茶振興協会



日本茶
きみくら
JAPANESE TEA KIMIKURA

佐々木製茶株式会社
KANEJO

大塚製茶株式会社、株式会社川北電気、株式会社桑原園、静岡国際オペラコンクール実行委員会、中根製茶株式会社、株式会社中村香緑園、株式会社原田園、原田商店、有限会社堀武商店、株式会社松下組、有限会社丸忠、丸堀製茶株式会社、三重大製茶株式会社、株式会社美笠園細田工場、株式会社山英、山啓製茶株式会社

■後援：静岡県、掛川市文化協会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix

■お問い合わせ

かけがわ茶エンナーレ実行委員会(掛川市文化・スポーツ振興課)

〒436-8650 静岡県掛川市長谷1-1-1
TEL.0537-21-1126 FAX.0537-21-1165
E-mail. chaennale@city.kakegawa.shizuoka.jp



かけがわ茶エンナーレ 検索

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容が変更になる場合があります。